

## 問 町道八千代・白山線の整備を

## 答 適切な時期に事業化を図る



議員 藤 克典 議員  
（政 和 会）



改良が望まれる町道八千代・白山線

**問** 町道八千代・白山線の山田北インター登坂車線から南東部約200メートルは道路

幅員が狭く対向車とのすれ違いの時には待機や徐行している状況である。また、道路に併設している用水路は、水量が少ないものの、浸透しにくくよどんでいることから、雑草が繁茂し、病害虫の発生など衛生上好ましくない状況である。このような状況を改善するため、用水路のコンクリートの側溝化、また、山田北インターフル化

後の交通量の増加を見越し、道路の拡幅を図るべきと考えるがいかがか。

**佐藤町長** 町道八千代・白山線は、ご指摘のとおり用水路などの影響により幅員の狭い箇所が存在しているが、山田北インターフル化に向け、交通量の増加が見込まれることから、周辺住民やインターチェンジ利用者に配慮した道路環境の改善が課題と認識している。今後、現地を調査し、水路等の状況も踏まえ、対応を検討する。

**問** 事業実施を前提とした検討と捉えたがいかがか。

**佐々木建設課長** 財源を検討の上、事業化を図りたい。

**問** 工事着手のめどはいつごろか。

**建設課長** フル化整備の進捗状況を見ながら適切な時期に対策を講じたい。



新たな利活用を検討 旧荒川小学校

## 問 旧荒川小学校利活用の内容は

## 答 ワークーション等に利活用を検討

**問** 過日、交流人口拡大への取り組みとして、旧荒川小学校を活用したい旨の報道がなされた。旧校舎を利活用することについては良いことと思うが、町としてどのように考えているのか、その内容について伺う。

**町長** テレワークに対応したワークーション施設など、関係人口や交流人口の創出が図られるよう検討を行う考えである。また、災害時の避難所、備蓄倉庫、派遣部隊の宿営拠点等にも活用することとしている。

**問** 受入れには施設の環境整備が必要である。閉校後は校庭等、雑草が繁茂している。地区の有志で草刈りは行っているが限界がある。何らかの対策が必要である。

**川守田政策企画課長** 利用者の協力を得ながら適正な管理に努めていければいいと思うがそれには限界がある。今後、状況を見ながら、町としても草刈りの実施など考えていきたい。